令和７年度採用　養護教諭

教科（科目）	受験番号
養護教諭	

1　次の文章は，「小学校学習指導要領（平成２９年告示）解説　特別活動編（平成２９年７月　文部科学省）　第３章　各活動・学校行事の目標及び内容　第４節　学校行事　２　学校行事の内容　（３）健康安全・体育的行事」の記載内容である。文中の（　A　）～（　E　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１１。

健康安全・体育的行事のねらいは，次のとおり考えられる。

児童自らが自己の発育や健康状態について関心をもち，心身の健康の保持増進に努めるとともに，身の回りの危険を予測・回避し，安全な生活に対する理解を深める。また，体育的な集団活動を通して，心身ともに健全な生活の実践に必要な習慣や態度を育成する。さらに，児童が（　A　）に親しみ，楽しさを味わえるようにするとともに（　B　）の向上を図る。

健康安全・体育的行事においては，例えば次のとおり資質・能力を育成することが考えられる。

○　心身の健全な発達や健康の保持増進，事件や事故，災害等の非常時から身を守ることなどについてその（　C　）を理解し，必要な行動の仕方などを身に付ける。また，体育的な集団活動の（　C　）を理解し，規律ある集団行動の仕方などを身に付けるようにする。

○　自己の健康や安全についての課題や解決策について考え，他者と協力して，適切に（　D　）し行動することができるようにする。また，（　A　）することの（　E　）について考え，集団で協力して取り組むことができるようにする。

○　心身の健全な発達や健康の保持増進に努め，安全に関心をもち，積極的に取り組もうとする態度を養う。また，（　A　）に親しみ，（　B　）の向上に積極的に取り組もうとする態度を養う。

（略）

	A	B	C	D	E
①	運動	体力	意義	判断	よさ
②	活動	技能	よさ	対処	効果
③	活動	体力	意義	対処	効果
④	運動	技能	意義	判断	よさ
⑤	運動	体力	よさ	対処	効果

2　次の文章は，「小学校学習指導要領（平成２９年告示）解説　体育編（平成２９年７月　文部科学省）　第２章　体育科の目標及び内容　G　保健　（１）心の健康　ア　知識及び技能」の記載内容である。文中の（　A　）～（　E　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１２。

(ｱ) 心の発達

心は人との関わり，あるいは自然とのふれあいなど様々な生活経験や学習を通して，年齢に伴って発達することを理解できるようにする。その際，家族，友達，地域の人々など人との関わりを中心として取り扱うようにし，心が発達することによって，自己の感情をコントロールしたり，相手の気持ちを理解したりすることができるようになることにも触れるようにする。また，自己の気持ちを上手に伝えるなど，よりよい（　A　）が大切であることにも触れるようにする。

(ｲ) 心と体との密接な関係

不安や緊張時には，（　B　）が激しくなったり，腹痛を起こしたりすること，体調が悪いときには，集中できなかったり，落ち込んだ気持ちになったり，体調がよいときには，気持ちが明るくなったり，集中できるようになったりすることなど，心と体は深く影響し合っていることを理解できるようにする。

(ｳ) 不安や悩みへの対処

不安や悩みがあるということは誰もが経験することであり，そうした場合には，家族や先生，友達などと話したり，相談したりすること，仲間と遊ぶこと，運動をしたり音楽を聴いたりすること，呼吸法を行うなどによって気持ちを楽にしたり，気分を変えたりすることなど様々な方法があり，（　C　）合った適切な方法で対処できることを理解できるようにする。その際，自己の心に不安や悩みがあるという状態に気付くことや不安や悩みに対処するために（　D　）ことは，心の発達のために大切であることにも触れるようにする。

不安や悩みへの対処として，（　E　）や深呼吸を取り入れた呼吸法などを行うことができるようにする。

	A	B	C	D	E
①	コミュニケーション	発汗	自分に	様々な経験をする	生活習慣の改善
②	コミュニケーション	発汗	発達段階に	問題を取り除く	体ほぐしの運動
③	コミュニケーション	動悸	自分に	様々な経験をする	体ほぐしの運動
④	人間関係	動悸	自分に	問題を取り除く	生活習慣の改善
⑤	人間関係	動悸	発達段階に	問題を取り除く	体ほぐしの運動

3　次の文章は，「中学校学習指導要領（平成２９年告示）解説　保健体育編（平成２９年７月　文部科学省）　第２章　保健体育科の目標及び内容　［保健分野］　２　内容　（３）傷害の防止」の記載内容である。下線部Ａ～Ｅのうち，正しいものの数を，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１３。

(3) 傷害の防止について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　傷害の防止について理解を深めるとともに，応急手当をすること。

(ｱ) 交通事故や自然災害などによる傷害は，Ａ　人的要因や環境要因などが関わって発生すること。

(ｲ) 交通事故などによる傷害の多くは，安全な行動，環境の改善によって防止できること。

(ｳ) 自然災害による傷害は，災害発生時だけでなく，二次災害によっても生じること。また，自然災害による傷害の多くは，災害に備えておくこと，安全にＢ　避難することによって防止できること。

(ｴ) 応急手当を適切に行うことによって，Ｃ　傷害の悪化を防止することができること。また，心肺蘇生法などを行うこと。

イ　傷害の防止について，危険の予測やその回避の方法を考え，それらを表現すること。

（略）

ここでは，傷害の発生には様々な要因があり，それらに対する適切な対策によって傷害の多くは防止できること，応急手当はＣ　傷害の悪化を防止することができることを理解できるようにすることが必要である。また，Ｄ　包帯法やＥ　アドレナリン自己注射薬（エピペン®）の使用を含む心肺蘇生法などの応急手当ができるようにすることが必要である。さらに，危険を予測し，その回避の方法を考え，それらを表現することができるようにすることが必要である。

（略）

①　1つ
②　2つ
③　3つ
④　4つ
⑤　5つ

4　次の文章は，「学校保健安全法」（昭和三十三年法律第五十六号）（平成２８年４月施行）の記載内容である。（　A　）～（　D　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１４。

> 第五条　学校においては，児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため，児童生徒等及び職員の健康診断，（　A　），児童生徒等に対する指導その他保健に関する事項について計画を策定し，これを実施しなければならない。
>
> 第十四条　学校においては，前条の健康診断の結果に基づき，疾病の予防処置を行い，又は治療を（　B　）し，並びに（　C　）を軽減する等適切な措置をとらなければならない。
>
> 第十八条　学校の設置者は，この法律の規定による健康診断を行おうとする場合その他政令で定める場合においては，（　D　）と連絡するものとする。

	A	B	C	D
①	環境衛生検査	勧告	運動及び作業	教育委員会
②	健康相談	指示	学習及び登校	保健所
③	環境衛生検査	勧告	学習及び登校	教育委員会
④	環境衛生検査	指示	運動及び作業	保健所
⑤	健康相談	勧告	運動及び作業	教育委員会

5　次の文章は，「学校保健安全法施行規則」（昭和三十三年文部省令第十八号）（令和５年５月施行）の「第六条」の記載内容である。下線部ア～オのうち，正しいものを「○」，正しくないものを「×」としたとき，その組合せの正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１５。

第六条　法第十三条第一項の健康診断における検査の項目は，次のとおりとする。

一　身長及び体重

二　栄養状態

三　脊柱及びア　肩甲骨の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態

四　視力及び聴力

五　眼の疾病及び異常の有無

六　耳鼻咽頭疾患及び皮膚疾患の有無

七　歯及びイ　歯周の疾病及び異常の有無

八　ウ　結核の有無

九　エ　心臓の疾病及び異常の有無

十　尿

十一　その他の疾病及び異常の有無

２　前項各号に掲げるもののほか，オ　腹囲及び肺活量，背筋力，握力等の機能を，検査の項目に加えることができる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	○	×	×	○
②	×	○	○	×	○
③	○	×	○	○	×
④	○	×	×	○	○
⑤	×	×	○	○	×

6　次の①～⑤の文章は,「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成２７年度改訂（平成２７年８月　公益財団法人　日本学校保健会）　第１章　児童，生徒，学生及び幼児の健康診断の実施　５　方法及び技術的基準　１２　心臓の疾病及び異常の有無」の記載内容をまとめたものである。心臓の検査について説明したものとして**適切でないもの**を，一つ選べ。解答番号は１６。

① 調査票は心電図検査までに配布し，回収しておく。

② 児童生徒等は，初めて検査を受けることが多く，不安がったり緊張したりすることがあるため，事前に心電図検査の目的とその方法を説明しておく。

③ 原則として，１学級の検査が１時限以内に終了できるようにすることが望ましい。

④ なるべく外部の雑音が入らない静かな部屋で，音の反響が少ないところがよい。

⑤ 既に，医療機関に定期的に受診している者は１次検診の対象者とせず，主治医により記入された学校生活管理指導表を保護者に提出してもらう。

7　次の文章は，「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》（令和２年３月　公益財団法人　日本学校保健会）第２章　疾患各論　３　アトピー性皮膚炎」の記載内容をまとめたものである。㋐～㋔のうち，適切であるものを「○」，適切でないものを「×」としたとき，その組合せの正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１７。

㋐　アトピー性皮膚炎は，かゆみのある湿疹がからだの特定部位に現れ，良くなったり悪くなったりしながら長く続く病気である。

㋑　強い炎症を伴う皮疹が体表面積の１５％以上に見られる状態を最重症という。

㋒　生まれながらの体質に，様々な環境条件が重なってアトピー性皮膚炎を発症する。アトピー性皮膚炎の人の皮膚は，乾燥しやすく，刺激に対し敏感に反応しやすいのが特徴である。

㋓　生活リズムの乱れや心理的ストレスなども皮膚炎（＝湿疹）を悪化させる原因になることがある。

㋔　アトピー性皮膚炎に対する治療には以下の３つの柱がある。

(1)　薬物療法：患部への塗り薬(外用薬)の塗布，かゆみを和らげる内服薬の服用など

(2)　スキンケア：皮膚の清潔と保湿，運動後に水道水やシャワーで汗を流すなど

(3)　悪化因子への対策：室内の乾燥を防ぐ，チクチクする素材の衣服を避けるなど

	㋐	㋑	㋒	㋓	㋔
①	○	×	○	×	×
②	×	×	○	○	○
③	○	×	×	×	○
④	×	○	×	○	×
⑤	×	○	○	○	×

8　次の文章は，「令和４年度　アレルギー疾患に関する調査報告書（令和５年３月　公益財団法人　日本学校保健会）」に示されているアレルギー疾患有病率の動向をまとめたものである。次のア～オのうち，適切なものの組合せを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１８。

ア　平成１６年度，平成２５年度，令和４年度の調査結果によれば，食物アレルギーの有病率は，毎年度増加している。

イ　平成１６年度，平成２５年度，令和４年度の調査結果によれば，アレルギー疾患有病率が最も高いのは，いずれの年度もアレルギー性結膜炎である。

ウ　平成２５年度に比べて，令和４年度のアレルギー疾患有病率が減少しているのは，アトピー性皮膚炎である。

エ　令和４年度の調査結果によれば，アレルギー性鼻炎の有病率は６％台である。

オ　平成１６年度，平成２５年度，令和４年度の調査結果によれば，アナフィラキシーの有病率は，いずれの年度も１％以下である。

① ア，イ
② イ，ウ
③ ア，オ
④ ウ，エ
⑤ エ，オ

9　次の表は，「学校において予防すべき感染症の解説　令和５年度改訂（令和６年３月　公益財団法人　日本学校保健会）　Ⅲ　感染症各論」の記載内容をまとめたものである。文中の（　A　）～（　D　）に当てはまる語句の組合せとして適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１９。

疾病名	特徴
（　A　）	紅斑，丘疹，水疱，膿疱，かさぶたの順に進行する発しんが出現し，同時に各病期の発しんが混在する感染性の強い感染症である。特に，免疫抑制状態の患者，成人が発症すると重症で，時に命に関わることがある。また，肺炎，脳炎，肝炎，ライ症候群（急性脳症）等を合併することもある。
（　B　）感染症	ベロ毒素を産生する（　B　）による感染症。全く症状のない人から，腹痛や血便を呈する人まで様々で，合併症として溶血性尿毒症症候群や脳症を併発し，時には死に至ることもある。
（　C　）感染症	咳を主症状とし，学童期以降の細菌性肺炎としては最も多い。夏から秋にかけて多く，家族内感染や再感染も多くみられる。５歳以上で１０－１５歳頃に好発するが，成人も罹患する。
（　D　）	黄色ブドウ球菌等の皮膚感染によって，紅斑，水疱，びらん及び厚い痂皮ができる感染症。夏期に多く，乳幼児に好発する。

	A	B	C	D
①	水痘	腸管出血性大腸菌	マイコプラズマ	伝染性膿痂疹
②	水痘	カンピロバクター	肺炎球菌	伝染性紅斑
③	風しん	腸管出血性大腸菌	肺炎球菌	伝染性膿痂疹
④	風しん	カンピロバクター	マイコプラズマ	伝染性紅斑
⑤	水痘	腸管出血性大腸菌	肺炎球菌	伝染性紅斑

１０　次の①～⑤の文章は，「赤十字救急法講習（１５版）（令和４年４月　日本赤十字社）　第２章　急病」の記載内容をまとめたものである。そのうち，**適切でないもの**を一つ選べ。解答番号は２０。

① けいれんの発作中，奥歯の間に割り箸，手拭などを入れることは避ける。

② 失神時，倒れて体を強く打つことが多いので，全身，特に頭を打っていないかよく調べる。

③ 顔や歯茎からの出血は，ガーゼなどで圧迫して止血を試みる。抜けた歯は，「歯の保存液」もしくは冷えた牛乳に浸すか，それらがなければ，乾燥させないようにラップフィルムに包んで，速やかに歯科医師の診察を受ける。

④ マダニに咬まれたら，すぐに引き抜き，傷口を確認する。

⑤ ゴケグモ（代表的なのはセアカゴケグモ）は，毒性が強いため注意が必要である。咬まれると腫れや激しい痛み，体の硬直，激しい腹痛，おう吐，発熱，悪寒などがある。初期には冷やすと痛みが軽減する。

11　次の①～⑤の文章は，「学校における水泳プールの保健衛生管理　平成２８年度改訂（平成２９年３月　公益財団法人　日本学校保健会）　第４章　水泳プールの水質管理」の記載内容をまとめたものである。そのうち，適切なものを一つ選べ。解答番号は２１。

① プールの水質については，㋐遊離残留塩素，㋑pH値，㋒大腸菌，㋓一般細菌，㋔有機物等，㋕濁度，㋖総トリハロメタン，㋗循環ろ過装置の処理水を日常的に検査することとなっています。

② プール水のpH値に最も大きい影響を与えるのは，塩素剤の使用量です。

③ 濁度や透明度が悪化したら，プール管理日誌などで入泳者が平常より多かったかどうか確認しましょう。対策として，循環ろ過装置の使用時間を長くするなどして透明度が回復するまで浄化を行いましょう。回復しない場合は，循環ろ過装置が正常に作動しているか保守点検を行いましょう。

④ 遊離残留塩素の測定場所は，矩形プールではプール内の対角線上におけるほぼ等間隔の位置，２箇所の水面下２０cm及び循環ろ過装置の取入れ口付近を原則としてください。

⑤ 学校環境衛生基準では，定期検査で「有機物等は，過マンガン酸カリウム消費量として１．０mg／L以下であること。」と示されています。過マンガン酸カリウム消費量は，プール水中の有機物による汚れの指標として設けられています。

12　次の文章は，「保健室経営計画作成の手引　平成２６年度改訂（平成２７年３月　公益財団法人　日本学校保健会）　３　保健室経営計画の作成」の記載内容をまとめたものである。次のア～オのうち，保健室経営計画についての説明として，適切なものの組合せを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２２。

ア　学校保健活動の年間を見通した総合的な基本計画である。

イ　保健室の経営において達成されるべき目標を立て，計画的・組織的に運営するために作成される計画である。

ウ　学校保健活動の年間を見通して，「保健教育」「保健管理」「組織活動」の３領域について立てる基本計画である。

エ　養護教諭が中心となって取り組む計画である。

オ　学校経営の評価に位置付け，評価を実施する。

① ア，ウ
② イ，オ
③ ア，エ
④ イ，エ
⑤ ウ，オ

13　次の文章は，「喫煙，飲酒，薬物乱用防止に関する指導参考資料－令和２年度改訂－中学校編　（令和３年３月　公益財団法人　日本学校保健会）［理論編］８．教育内容及び扱い方に関する留意点：薬物乱用防止教育の場合　薬物乱用防止教育に必要な内容及び配慮が必要な情報　（１）薬物乱用防止教育に必要な内容」の記載内容をまとめたものである。ア～オのうち，適切であるものを「○」，適切でないものを「×」としたとき，その組合せの正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２３。

ア　薬物乱用は限られた人や特別な場合の問題であることが明快に述べられていること

イ　法律及び社会的ルールを守ることの大切さを明確な表現で伝えること

ウ　教師が伝えたい内容で一方的に構成するのではなく，対象となる生徒の興味・関心や理解力など，発育・発達段階を十分考慮した内容や指導方法であること

エ　害や怖さのみを強調する

オ　生徒がおかれている地域や家庭環境を非難したり，酒やたばこを販売する職業を悪と決めつけたりすることはしないなど，生徒や家族を傷つける可能性のある内容は避けること

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	○	×	×	○
②	○	○	○	○	○
③	○	×	○	○	×
④	×	○	○	×	○
⑤	×	×	×	×	×

１４　次の①～⑤の文章は，「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針（平成３０年１月１８日　厚生労働省）」の記載内容をまとめたものである。そのうち**適切でないもの**を，一つ選べ。解答番号は２４。

① ＨＩＶは血液又は体液に存在する。ＨＩＶの主要な感染経路は性行為による感染であり，性行為を行う全ての人に感染する危険性がある。また，その他の感染経路として，ＨＩＶに汚染された血液を介した感染，母子感染等がある。

② ＨＩＶ感染症は急性感染症であるが，近年の抗ＨＩＶ療法の進歩により，感染者の予後が改善された結果，早期治療を開始した感染者は健常者と同等の生活を送ることができることとなった。

③ 国連合同エイズ計画（ＵＮＡＩＤＳ）は，第一に感染者等が検査によりその感染を自覚し，第二に定期的に治療を受け，第三に他者に感染させない状態にまでウイルス量を低下させるという一連のプロセスをケアカスケードと称している。

④ 普及啓発及び教育は，近年の発生動向を踏まえ，対象者の実情に応じて正確な情報と知識を，分かりやすい内容と効果的な媒体により提供する取組を強化することで，個人個人の行動がＨＩＶに感染する危険性の低いもの又は無いものに変化することを促進する必要がある。

⑤ 近年，郵送検査の利用数が増加しているが，郵送検査のみでは，ＨＩＶの感染の有無が確定するものではない。

15 次の文章は，「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針（平成２８年２月４日一部改正　厚生労働省）　第２　がん予防重点健康教育　３　実施に当たっての留意事項」の記載内容である。文中の（　A　）～（　F　）に当てはまる語句の組合せとして適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２５。

（1）胃がん予防健康教育を実施する場合は，胃がんの予防においては，食生活の改善，（　A　），ヘリコバクター・ピロリの除菌等の一次予防と二次予防（検診）とが共に重要な役割を担うことから，胃がん検診と緊密な連携が確保された実施体制を整備するなど，その効率的・効果的な実施に配慮する。

（2）子宮頸がん及び子宮体がん予防健康教育を実施する場合は，子宮頸がんの多くに性感染症の病原体の一つである（　B　）が関与していることを踏まえ，必要に応じ，教育関係者や母子保健担当者とも連携を図るなど，その効率的・効果的な実施に配慮する。

（略）

（3）肺がん予防健康教育を実施する場合は，肺がん検診の実施会場において同時に実施するなど，他の事業との連携や対象者の利便性に配慮する。

（4）乳がん予防健康教育を実施する場合は，我が国において（　C　）の女性に罹患率が高い状況を踏まえ，働く女性に対する健康教育を実施する産業保健とも緊密な連携が確保された実施体制を整備するなど，その効率的・効果的な実施に配慮する。

なお，（　D　）の女性については，この指針に規定する乳がん検診の対象とはならないものの，罹患率が上昇傾向にあることを踏まえ，（　E　）の重要性及び異常がある場合の専門医療機関への早期受診等に関する指導を行うこと。

（5）（　F　）予防健康教育を実施する場合は，（　F　）の予防においては，食生活の改善等の一次予防と二次予防（検診）とが共に重要な役割を担うことから，（　F　）検診と緊密な連携が確保された実施体制を整備するなど，その効率的・効果的な実施に配慮する。

	A	B	C	D	E	F
①	運動	ヒトパピローマウイルス	４０歳代	２０歳代	早期治療	食道がん
②	運動	ヒトパピローマウイルス	３０歳代	２０歳代	自己触診	大腸がん
③	運動	カンジタ菌	４０歳代	３０歳代	自己触診	食道がん
④	禁煙	カンジタ菌	３０歳代	２０歳代	早期治療	食道がん
⑤	禁煙	ヒトパピローマウイルス	４０歳代	３０歳代	自己触診	大腸がん

16　次の文章は，「保健主事のための実務ハンドブック－令和２年度改訂－（令和３年３月　公益財団法人 日本学校保健会）第２章　保健主事の役割　（３）学校保健に関する組織活動の推進　ア．教職員の協力体制の確立　（エ）　教職員の意識を高める働きかけ」の記載内容である。下線部ア～オのうち**適切でないもの**の組合せを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２６。

学校保健活動に対する教職員一人一人の意識が高まるかどうかは，なぜその活動を展開するのかという活動の意味（ねらいや目的），その背景となっている児童生徒の学校，家庭，地域での生活状況をいかにア　協議できるかにかかっています。例えば，学校保健活動の実施計画を作成するに当たっては，保健主事としてリーダーシップを発揮する上で，以下のことに留意する必要があります。

（１）実施計画はその場限りの行動計画ではなく，期待される未来を実現するためのものです。その意味でイ　現時点の課題を克服できるものとなるよう配慮しましょう。

（２）組織の能力を踏まえた計画，児童生徒や学校・地域の実態に即した計画は，計画を実行する教職員や関係者のウ　活動意欲を高めます。達成可能な目標と計画でなければなりません。

（３）実行可能性のある計画は，到達すべき状態や規準が明確にされています。この到達すべき状態や規準は，計画実行後の評価規準ともなります。また，学校保健活動のエ　評価規準が計画の中に示されることによって教職員の動機付けにもなります。

（４）計画とその目標は，全ての教職員に理解されていなければなりません。また，計画内容の具体化，参加的な立案，共通理解の促進等により，オ　評価結果が教職員の動機付けの一要因となっていることが重要です。

また，学校保健活動は，学校教育全体で展開されることになるため，できる限り関係する多くの教職員が計画の作成に関わるように配慮する必要があります。

① ア，ウ，エ
② イ，エ，オ
③ ア，イ，オ
④ ア，ウ，オ
⑤ イ，ウ，エ

17　次の文章は，「『生きる力』を育む学校での歯・口の健康づくり　令和元年度改訂（令和２年２月　公益財団法人　日本学校保健会）　第２章　歯・口の健康づくりの理論と基礎知識　第２節　歯・口の発育と機能の発達」の記載内容をまとめたものである。適切であるものを「○」，適切でないものを「×」としたとき，その組合せの正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２７。

ア　乳歯列が完成する４歳半から５歳頃には，食物に応じて噛む力や噛む回数を調節することが上手になり，咀嚼の動きもリズミカルになる。（略）この時期には，噛み応えのある食品を食事に取り入れ，よく噛む習慣を身に付けていくことが重要である。

イ　構音に影響を及ぼすものに，舌の小帯（ひだ）の付着位置の異常や歯の欠如がある。

ウ　永久歯が最初に生える歯は上顎中切歯か下顎犬歯であることが多い。

エ　第三大臼歯は，接触面積や咀嚼力が最も大きい歯なので，第三大臼歯が噛み合うと噛む力は飛躍的に向上する。

オ　永久歯の萌出時期は，乳歯と同様かなり個人差があり，約１年の遅れはしばしばみられるが，とくに乳歯に重度のむし歯や外傷などがあると，乳歯が自然に抜けないため永久歯の萌出が遅れやすい。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	○	○	○	×
②	○	×	×	○	○
③	○	×	○	×	○
④	×	○	×	×	○
⑤	○	○	○	×	×

18 次の文章は，「学校保健の課題とその対応－養護教諭の職務等に関する調査結果から－　－令和２年度改訂－　（令和３年３月　公益財団法人　日本学校保健会）第２章　調査結果から見た学校保健の課題とその対応　Ⅱ　保健管理　３　健康観察」の記載内容である。文中の（　A　）～（　D　）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２８。

健康観察の目的は，次のとおりである。
・児童生徒等の心身の（　A　）の早期発見・早期対応を図る。
・感染症や食中毒などの（　B　）を把握し，感染の拡大防止や予防を図る。
・日々の継続的な実施によって，児童生徒等に（　C　）の健康に興味・関心をもたせ，（　D　）の育成を図る。

	A	B	C	D
①	発達課題	集団発生状況	自分	課題解決力
②	健康課題	集団発生状況	自他	自己管理能力
③	発達課題	り患率	自分	課題解決力
④	健康課題	り患率	自分	自己管理能力
⑤	健康課題	り患率	自他	自己管理能力

19　次の表は，「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和３年度改訂－」（令和４年３月　公益財団法人　日本学校保健会）　第３章　学校における健康相談の進め方と支援体制づくり　２　学校内外の支援体制づくり　（２）地域の関係機関等との連携体制づくり　③　地域の主な関係機関とその役割（例）」の記載内容をまとめたものである。表中の（　A　）～（　D　）に当てはまる語句の組合せとして適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２９。

地域社会の主な関係機関	主な役割
（　A　）センター	心の問題や病気，アルコール・薬物依存の問題，思春期・青年期における精神医学的問題について，専門の職員が相談に応じている。
警察 （　B　）センター	万引き，薬物乱用等の非行，喫煙や深夜徘徊等の不良行為，また，いじめ，児童虐待，犯罪被害等で悩んでいる子供や保護者等からの相談に応じ，問題の早期解決に向け，支援する。
児童相談所 （　C　）センター （　D　）対策地域協議会	子供の虐待をはじめ専門的な技術援助及び指導を必要とする相談に応え，問題の原因がどこにあるか，どのようにしたら子供が健やかに成長するかを総合的に調査，診断，判定し，自ら又は関係機関等を活用し，その子供に最も適した援助を行っている。

	A	B	C	D
①	精神医療	相談	子ども家庭支援	子ども支援
②	精神保健福祉	相談	子ども家庭支援	要保護児童
③	精神保健福祉	相談	保健	子ども支援
④	精神保健福祉	少年サポート	子ども家庭支援	要保護児童
⑤	精神医療	少年サポート	保健	子ども支援

２０　次の文章は，文部科学省「令和４年度学校保健統計（確報値）の公表について（令和５年１１月　総合教育政策局）【発育状態調査】」の結果をまとめたものである。ア～オのうち，適切であるものを「○」，適切でないものを「×」としたとき，その組合せの正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は３０。

ア　肥満傾向児の割合は男女ともに小学校高学年が最も高く，特に男子は８歳以降１割を超えている。
イ　中学校（１２～１４歳）において，肥満傾向児の割合が最も高いのは，男女ともに１４歳である。
ウ　高等学校（１５～１７歳）において，肥満傾向児の割合が最も高いのは，男女ともに１５歳である。
エ　小学校（６～１１歳）において，痩身傾向児の割合が最も高いのは，男女ともに小学校低学年である。
オ　５～１７歳の男女の中で，痩身傾向児の割合が最も高いのは１５歳男子である。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	○	×	○	×	○
②	○	×	×	○	×
③	×	×	○	○	×
④	○	○	×	×	×
⑤	×	○	○	○	○

令和７年度採用　岐阜県公立学校教員採用選考試験
第１次選考試験　養護教諭

解答番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	①	③	④	④	⑤	⑤	②	③	①	④

解答番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解	③	④	④	②	⑤	③	④	②	④	①